

投与後の曝露対策



投与後の処理

抗がん薬は密封して廃棄する
 調製に使用した器具は密封して廃棄する
 ラインに残った残液は輸液ボトルに戻す
 注射器・針・ルートも密封容器で廃棄する
 患者の排泄物にも十分注意する。



2

抗がん剤曝露時の対処方法

・衣服に付着したときは

ただちにゴム手袋を着用し付着部位を流水で洗い、さらに洗剤で洗う。高度に汚染した衣類は、他の物と一緒に洗濯しない

・床、作業台が汚染したときは

ゴム手袋で手指を覆い、汚染箇所をペーパータオルなどで外側から中心に向かって拭き取る。さらに無毒化剤で拭き取る。拭き取りに使用したタオルなどは汚染が広がらないよう密封した廃棄する



3

患者対応の注意点

抗がん剤投与後48時間以内は排泄物に注意

尿、便、汗、唾液など

リネン・衣類は他のものと分けて2回洗濯

排泄後はトイレを2回流す(節水型が多くなる)

無駄な蓄尿をしない



4



抗がん剤投与患者の排泄物処理

薬品名	処理時にPPEの着用が推奨される期間	
5-フルオロウラシル	尿：2日間	糞便：5日間
イダルビシン	尿：3日間	糞便：2日間
エトポシド	尿：3日間	糞便：5日間
オキサリプラチン	尿：3日間	
カルボプラチン	尿：1-2日間	

International Society of Oncology Pharmacy PractitionersのStandards of Practiceより改変
6

抗がん剤投与患者の排泄物処理

薬品名	処理時にPPEの着用が推奨される期間	
ゲムシタビン	尿：1日間	
シクロホスファミド	尿：3日間	糞便：5日間
シスプラテチン	尿：7日間	
シタラビン	尿：1日間	
ドキシソルビシン	尿：6日間	糞便：7日間

International Society of Oncology Pharmacy PractitionersのStandards of Practiceより改変
7

抗がん剤投与患者の排泄物処理

薬品名	処理時にPPEの着用が推奨される期間	
ドセタキセル	尿：1日間	糞便：2日間
トポテカン	尿：2日間	
ピンクリスチン	尿：4日間	糞便：4日間
ブレオマイシン	尿：3日間	
メソトレキサート	尿：3日間	糞便：7日間

International Society of Oncology Pharmacy PractitionersのStandards of Practiceより改変
8